

2018年度一般社団法人 大竹青年会議所 広報誌 VOL.16 2018.12.1



特集①卒業生からの言葉



特集②広島ブロック委員長を務めて



特集③専務理事という役割を終えて



明るい豊かな社会の実現のために。
一般社団法人大竹青年会議所は
6月9日に創立50周年を迎えました。

一般社団法人大竹青年会議所HP
<http://www.otakejc.com/2018/>

大竹青年会議所



特集① 卒業生からの言葉



2011
年度入会

藤野 広志 君

今年の12月で卒業を迎えます。卒業が近づくにつれ、寂しいような、待ち遠しいような気持ちで過ごしています。2011年に入会してから、8年間を青年会議所で過ごさせていただきました。入会当時からしてみれば、今に至る自分は想像も付かない程に、青年会議所会員として、一個人としても、成長することができたと思っています。

青年会議所に入会して得ることのできた様々な機会に、多くのことを学ばせていただく体験ができ、そのように思える自分に成れたことに感謝しています。

青年会議所活動の全ての機会に参加しきれたわけではありませんが、真面目に取り組んでこられたこと、同期の仲間や青年期に出会えた同年代の仲間達に恵まれたことを、いよいよ卒業を迎える年になり、これまでを振り返り恵まれていたと思います。

現役会員として最後の寄稿になるのかと思うと、キーボードを打つ手が止まってしまう。何かを伝えなければと考えれば考えるほど、パソコンの前から目を背けてしまう。思い返せば青年会議所に入会してからは本当に様々な機会があり、自らが望めばそれらを経験し学びを得られることが本会の魅力の一つであり、与えられた役職を全うすること、そして会員であるならば貪欲にそれらの機会を掴みにいくことが、自らを成長させることが出来るのだと確信しています。

卒業することが分かっているながら、今日までの約5年間、仕事や家庭、そしてJCのある生活を過ごしてきましたが、その期限が迫ってくることに寂しさの感情が湧いてくるのは、苦しい時には助けあい、楽しい時には笑いあい、出会った人々と共に過ごす時間の大切さを学ばせていただいたからです。大竹青年会議所、そして私自身に関わる全ての人々に感謝いたします。

『Chase the Chance!』



2014
年度入会

小城 和之 君



2014
年度入会

沖野 博志 君

大竹市から高校を卒業して15年間離れていました。帰ってきてもみると大竹市に同級生もあまりいないし、知っている人もそんなにいない、地元のことをそんなに知らない自分がいました。実家を手伝いに戻って来たのですが、とりあえず目の前の仕事をただひたすらこなしていくことで面白みを感じていませんでした。そんな時、ひとりの先輩が声を掛けて下さり、初めて大竹青年会議所という団体を知りました。最初は、知り合いや仲間が増えれば良いという程度でした。しかし、入会してみると様々な体験をする機会に恵まれ、役職を経験することで社会性や人間性が磨かれたと思っています。現役生活は5年間という短い期間でしたが、多くの仲間が出来、失敗を経験することで成長する学びがあり、やってみないと分からないことを色々と経験させて頂きました。

これからは、一経済人として仕事に社会貢献に学んだことを糧に邁進してまいります。大変お世話になり、有難うございました。

広島ブロック委員長を務めて



公益社団法人日本青年会議所
中国地区 広島ブロック協議会
次世代育成委員会 委員長

沖野 博志 君

この度、広島ブロック協議会へ出向させて頂き、多くの経験を積むことが出来ました。セクレタリーやLOM委員長の際にブロックに出向して会員会議所やブロックの委員会を経験しましたが、ブロックの委員長として出させて頂くことは、LOMとは違う経験をしました。

ブロックアカデミーを担当させて頂き、各地青年会議所の新入会員や仮入会員を受け持った際には、目の輝きが違うというかいつものLOMと雰囲気が違うからか、皆期待に胸膨らませているように見えました。会員がアカデミーを通して仲良くなり、同期の仲間が様々な役職で頑張っているといい刺激になり、青年会議所活動における先行投資の財産になりました。

また、広島ブロックという大きな規模で活動をする事ができ、活動に精一杯打ち込むことで、新しい成長の機会をいただくことが出来ました。共に出向している委員長達も1年間で様々な事業を開催し、成長していく姿を見ることが出来ました。

広島ブロック協議会に出向し、新しい多くの仲間が出来ました。委員会メンバーや仲間が協力してくれることで事業が成り立っていき、共に歩む仲間の大事さを改めて感じる事が出来ました。大変貴重な経験や学びを有難うございました。

専務理事という役割を終えて

専務理事 網代木 秀太 君

本年度、創立50周年という記念すべき年に、専務理事という大役をいただき1年間、どのようにすれば会が円滑に運営できるのかを考え活動させていただきました。

その中で感じたことは、会員全員が本年度スローガン、「志誠相伝」～一人の決断から道は拓かれる～のもと各委員会の活動をはじめ、会員一人一人が取り残されることのないようにまとめていくことの難しさを痛感しました。

また、総務広報委員会の役割を兼務し二人の専務理事セクレタリーと共に大竹青年会議所活動を幅広く発信するとともに、15名という少ない会員の中で、創立50周年記念式典、大懇親会、記念事業といった事業の他に、四つの委員会が活動を行うために、会員同士の連携を強化するべく、各委員会と連絡を密にし、会員一人一人が活動に対し積極的に参加できるよう促すことで、参加率を向上することができました。

最後に、多くのご支援、ご指導いただきました先輩方に感謝申し上げますとともに、本年度専務理事という役をいただくことで得た知識や経験を次年度以降に伝えていき、これから先の大竹青年会議所が発展していけるよう、さらに邁進していきます。1年間ありがとうございました。



活動報告～例会を終えた担当者の想い～

9月例会 会員資質向上委員会 委員長 高橋 央史 君



今年の委員会活動の中心は、「志」「現状把握」「実行力」です。会員には、青年会議所や私生活、仕事において今後自身がやりたいこと、提供したいことが数多くあると思います。この度の例会では、それをどうすれば確実に実行できるかを考えて実践することで、実行力を学ぶ機会としました。また、企画の段階から新入会員である前田委員より積極的な意見をいただき、進行役等の役割を任せることで、前田委員自身の成長に繋げていただきました。そのことは、委員長としての責務の一つを果たせたのではないかと感じております。

担当例会はこれで終わりとなりますが、まだまだ1年を通しての活動が控えていますし、青年会議所活動も続きますので、最後まで会員の皆様に参加したいと思う活動を心がけていくよう努めてまいります。今後とも会員資質向上委員会をよろしくお願いいたします。

10月合同例会 三役会 専務理事セクレタリ 岩崎 静穂 君

10月合同例会では、初対面で好印象を与えることの重要性について、基本のマナーとあわせてお話をいただきました。

青年会議所会員として学び・身につけるべき基本のひとつがマナーであり、仕事に限らず「まちづくり」「ひとづくり」の場においても内面・外面ともに美しい立ち振る舞いを心がけることは重要です。

常に人に見られているという「意識」をもち、相手に不快感を与えないことが、相手に対する「マナー」であるということ、そしてそのひとの考え方を反映するのが「態度」であり、その態度を作り出すものが、そのひとの内面的な要素と動作であり、相手を思う心、気遣う心が大切だとご理解いただける内容となりました。内面・外面ともに美しい青年会議所会員であるため、礼儀正しく気品のある男女 紳士・淑女であるよう我々が美しいマナーを実践することは今後の青年会議所活動・LOMの発展、さらには拡大活動にも繋がるものであると実感した例会となりました。



11月例会 ひとのわ事業企画室 担当委員長 河野 大輔 君



本年度ひとのわ事業企画室では、「地域の子どもは地域の大人が育てる」という意識を広めるために活動して参りました。その最後の事業である、11月例会では、この1年を振り返り、年間を通してご参加いただいた皆様と共に、これから先の青少年育成に対してどのような活動を行えば良いのか、ディスカッションにて深く考えていただけたと思います。

地域の中に子どもに関わっていく想いのある大人が増えることは、将来を担う子どもたちにより多くの人との関わりや経験を得てもらえる機会を増やすことに繋がると考えます。

地域を牽引していく会員、想いを持って活動いただいた参加者の皆様には、本年度の事業に対し多大なるご協力をいただきました事に、深く感謝を申し上げます。誠に有難うございました。

新入会員として1年間の活動を終えて 新入会員 前田 利祥 君



新入会員として今年1年は多くの事を学ばせて頂きました。会社では経験できなかったであろう体験も多くあり、特に本年度は創立50周年という節目の年で、右も左もわからない状態でしたが、設営や書類作成、事業に向う姿勢など先輩方の背中が「こうやるんだ」と、語ってるようでした。実際に助言や手助けをして頂きなんとかこの一年を乗り切る事ができました。次年度は専務理事セクレタリとして役を頂きます。本年度に教えて頂いた事を少しでも自分の血となり肉となるよう頑張ってみます。そして、次年度は多くの新入会員がいます。私も助言や行動で示す立場になり新入会員に背中を語る会員として頑張ってみます。1年間ありがとうございました。